

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4649164号
(P4649164)

(45) 発行日 平成23年3月9日(2011.3.9)

(24) 登録日 平成22年12月17日(2010.12.17)

(51) Int.Cl.

F I

B 6 5 D 5/50 (2006.01)

B 6 5 D 5/50

A

請求項の数 1 (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願2004-298859 (P2004-298859)
 (22) 出願日 平成16年10月13日(2004.10.13)
 (65) 公開番号 特開2006-111291 (P2006-111291A)
 (43) 公開日 平成18年4月27日(2006.4.27)
 審査請求日 平成19年9月3日(2007.9.3)

(73) 特許権者 592100739
 小倉美術印刷株式会社
 大阪府八尾市若林町2丁目115番地
 (74) 代理人 100074206
 弁理士 鎌田 文二
 (74) 代理人 100084858
 弁理士 東尾 正博
 (74) 代理人 100087538
 弁理士 鳥居 和久
 (72) 発明者 石鍋 秀之
 大阪府八尾市若林町2丁目115番地 小
 倉美術印刷株式会社内

審査官 武内 大志

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 包装箱

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表面板 1、一対の側面板 2、4 及び背面板 3 から周壁をなし、底側及び蓋側を閉じて封
 緘する包装箱において、表面板 1 の一側に一方の側面板 2、背面板 3 及び他方の側面板 4
 を、他側に内側板 5 及び傾斜板 6 を順次連設して、内側板 5 と傾斜板 6 の境界に蓋側から
 底側へ切目を入れ、傾斜板 6 の蓋側に中折板 7 及び差込片 8 を順次連設し、側面板 2、4
 の底側に折曲片 9 を、表面板 1 及び背面板 3 の底側に底板 10、11 をそれぞれ連設し、
 側面板 2、4 の蓋側に折曲片 12 を、背面板 3 の蓋側に蓋 13 をそれぞれ連設し、蓋 13
 は、基端側から外蓋板 14 及び外表板 15 を順次連設し、外表板 15 の先端部に摘み片 1
 6 を設けたものとし、表面板 1 の蓋側部分に、両端から V 字状にジッパ形切目線 17 を入
 れ、製造する際には、内側板 5 を他方の側面板 4 の内側に貼り付け、傾斜板 6 の底側を背
 面板 3 に沿わせて貼り付けておき、商品を包装する際には、傾斜板 6 の蓋側を表面板 1 に
 接近させて、折曲片 12 を内側へ折り曲げ、中折板 7 を折り返して折曲片 12 の外側に被
 せ、差込片 8 を背面板 3 と折曲片 12 の間に差し込んで、傾斜板 6 を傾斜状態に保持し、
 外蓋板 14 を中折板 7 の外側に被せ、外表板 15 を表面板 1 に被せるように蓋板 13 を閉
 じ、切目線 17 の間の部分で外表板 15 と表面板 1 とを貼り合わせて、蓋側を封緘し、底
 側から表面板 1 と傾斜板 6 の間に薄形商品 P を収納し、折曲片 9 を内側へ折り曲げ、底板
 10、11 を順次重ね貼り合わせて、底側を封緘し、商品を取り出す際には、摘み片 16
 を引っ張り、切目線 17 の繋部を切断して、蓋 13 を開くと、表面板 1 の蓋側部分と傾斜
 板 6 の間に商品の取出口が形成されるようにしたことを特徴とする包装箱。

10

20

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

この発明は、シート状の薄形商品の収納に適した包装箱に関するものである。

【背景技術】

【0002】

通常、薬局、薬店で販売されるシート状貼り薬のパウチを収納する包装箱として、表面板、一对の側面板及び背面板から周壁をなし、底側及び蓋側を閉じて封緘するものが使用されている。しかし、この包装箱を適量のパウチの積層厚さに応じた厚さとする、非常に薄い箱となるため、パウチが取り出しにくいものとなる。

10

【0003】

その対策として、例えば、下記特許文献1に示されたように、スリーブの内側に傾斜板を有する部材を挿入した包装箱を使用し、傾斜板に沿ってパウチを容易に取り出せるようにすることが考えられる。

【0004】

【特許文献1】実公昭53-53630号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

ところが、上記特許文献1に記載した包装箱は、複数部材を組み合わせたものであるため、カートニングマシンでの包装に適していないという問題がある。

20

【0006】

そこで、この発明は、カートニングマシンでの包装適性に優れ、薄形商品の取り出しが容易な包装箱を提供することを課題とする。

【課題を解決するための手段】

【0007】

上記課題を解決するため、この発明は、表面板、一对の側面板及び背面板から周壁をなし、底側及び蓋側を閉じて封緘する包装箱において、表面板の一侧に一方の側面板、背面板及び他方の側面板を、他側に内側板及び傾斜板を順次連設して、内側板と傾斜板の境界に蓋側から底側へ切目を入れ、傾斜板の蓋側に中折板及び差込片を順次連設し、内側板を他方の側面板の内側に貼り付け、傾斜板の底側を背面板に沿わせ、蓋側を表面板に接近させて、側面板の蓋側から延びる折曲片を内側へ折り曲げ、中折板を折り返して折曲片の外側に被せ、差込片を背面板と折曲片の間に差し込んで、傾斜板を傾斜状態に保持し、表面板と傾斜板の間に薄形商品を収納し、背面板から繋がる蓋を開くと、表面板の蓋側部分と傾斜板の間に商品の取出口が形成されるようにしたのである。

30

【発明の効果】

【0008】

このような包装箱は、一枚のブランクを折り曲げて糊付けすることにより、カートニングマシンで容易に組み立てることができ、薄形商品を傾斜した状態で収納するので、開封時には、積層した薄形商品を傾斜板に沿って容易に取り出すことができる。また、箱の厚さがある程度大きくなるので、店頭での視認性に優れたものとなる。

40

【発明を実施するための最良の形態】

【0009】

以下、この発明の実施形態を添付図面に基づいて説明する。

【0010】

この包装箱は、図1に示すような板紙製のブランクから形成される。この図において、表面板1の一侧には、一方の側面板2、背面板3及び他方の側面板4が順次連設され、表面板1の他側には、内側板5及び傾斜板6が順次連設されている。内側板5と傾斜板6の境界には、上端から下方へ切目が入れられ、傾斜板6の上端には中折板7及び差込片8が順次連設されている。

50

【 0 0 1 1 】

側面板 2 , 4 の下端には折曲片 9 が、表面板 1 及び背面板 3 の下端には底板 1 0 , 1 1 がそれぞれ連設され、側面板 2 , 4 の上端には折曲片 1 2 が、背面板 3 の上端には蓋 1 3 がそれぞれ連設されている。蓋 1 3 は、基端側から外蓋板 1 4 及び外表板 1 5 を順次連設し、外表板 1 5 の先端部に摘み片 1 6 を設けたものとなっている。

【 0 0 1 2 】

表面板 1 の上部には、両端から V 字状にジッパ形切目線 1 7 が入れられ、その下部には再封緘用スリット 1 8 が形成されている。中折板 7 は、外蓋板 1 4 よりやや短く、その基端は切目が断続するミシン目とされている。また、中折板 7 の両端縁及び折曲片 1 2 の一側縁には、それぞれ切込が入れている。

10

【 0 0 1 3 】

このようなブランクから包装箱を製造するには、図 2 に示すように、内側板 5 と傾斜板 6 の境界を傾斜板 6 が表面板 1 の裏側へ重なるように 1 8 0 ° 折り曲げ、表面板 1 と側面板 2 の境界及び背面板 3 と側面板 4 の境界を順次 1 8 0 ° 折り曲げて、内側板 5 を側面板 4 の内側に貼り付けると共に、傾斜板 6 の底側を背面板 3 に貼り付ける。この状態では、包装箱は扁平となっているので、薬剤等の商品製造者に供給する際、嵩張ることがない。

【 0 0 1 4 】

そして、商品の包装に際しては、図 3 に示すように、まず、側面板 2 , 4 を起こして、表面板 1、側面板 2 , 4 及び背面板 3 により角筒状の周壁を形成し、続いて、図 4 に示すように、傾斜板 6 の蓋側を表面板 1 に接近させ、折曲片 1 2 を内側へ折り曲げ、中折板 7 を折り返して折曲片 1 2 の外側に被せ、図 5 に示すように、差込片 8 を背面板 3 と折曲片 1 2 の間に差し込み、傾斜板 6 を傾斜状態に保持する。

20

【 0 0 1 5 】

次いで、外蓋板 1 4 を中折板 7 の外側に被せ、外表板 1 5 を表面板 1 に被せるように蓋 1 3 を閉じ、図 6 に示すように、切目線 1 7 の間の部分で外表板 1 5 と表面板 1 とを貼り合せて、蓋側を封緘し、底側から表面板 1 と傾斜板 6 の間に所定枚数の薄形商品 P を挿入した後、図 7 及び図 8 に示すように、折曲片 9 を内側へ折り曲げ、底板 1 0 , 1 1 を順次重ねて貼り合わせ、底側を封緘すると、包装が完了する。

【 0 0 1 6 】

このような包装箱は、上記のように、一枚のブランクを折り曲げて糊付けすることにより、カートニングマシンを用いて容易に組み立てることができるので、包装コストを抑制することができる。また、包装箱の内部において、商品 P が傾斜した状態で支持されるので、箱の厚さをある程度大きくして、店頭での視認性に優れたものとすることができ、箱内に説明書や付属物を収納することもできる。

30

【 0 0 1 7 】

一方、この包装箱から商品を取り出す際には、摘み片 1 6 を引っ張ると、図 9 に示すように、切目線 1 7 の繋部が切断され、蓋 1 3 を開くことができる。この開封状態では、表面板 1 の切目線 1 7 の間の部分が外表板 1 5 の裏面に貼り付いたままとなり、表面板 1 の蓋側部分と傾斜板 6 の間に商品の取出口が形成されるので、商品 P を指で手前に引くようにして、一枚ずつ容易に取り出すことができる。

40

【 0 0 1 8 】

また、使い残した商品 P を保管しておく際には、図 1 0 に示すように、蓋 1 3 を閉じ、摘み片 1 6 をスリット 1 8 から表面板 1 の下方へ差し込むと、蓋 1 3 が閉じた状態に保持され、再封緘することができるので、包装箱の内部に塵埃が侵入することがなく、商品 P を衛生的に保管しておくことができる。

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 1 9 】

【 図 1 】 この発明の実施形態に係る包装箱のブランクを示す図

【 図 2 】 同上の包装箱の組立前の折畳状態を示す斜視図

【 図 3 】 同上の組立過程を示す底側からの斜視図

50

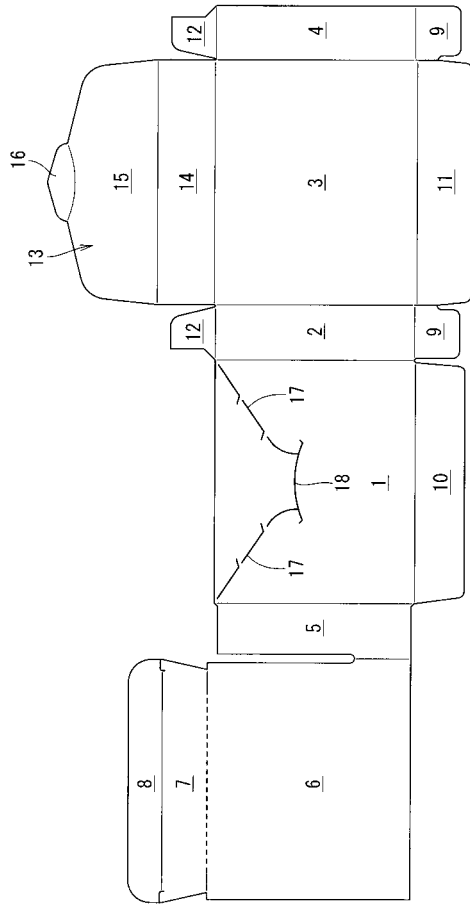
- 【図４】同上の組立過程を示す蓋側からの斜視図
【図５】同上の組立過程を示す蓋側からの斜視図
【図６】同上の商品挿入過程を示す底側からの斜視図
【図７】同上の包装状態を示す蓋側からの斜視図
【図８】同上の包装状態を示す縦断側面図
【図９】同上の開封状態を示す蓋側からの斜視図
【図１０】同上の再封緘状態を示す蓋側からの斜視図

【符号の説明】

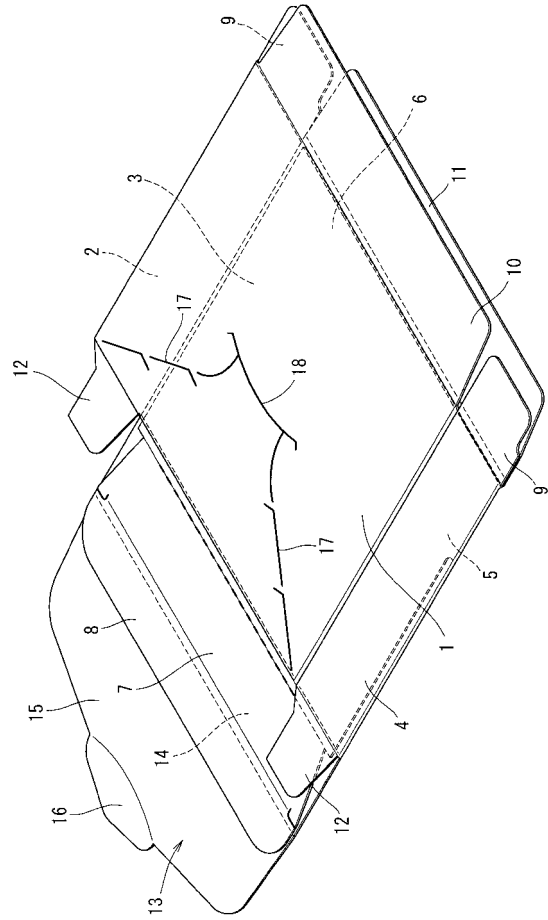
【 ０ ０ ２ ０ 】

- | | | |
|-------|------|----|
| １ | 表面板 | 10 |
| ２ | 側面板 | |
| ３ | 背面板 | |
| ４ | 側面板 | |
| ５ | 内側板 | |
| ６ | 傾斜板 | |
| ７ | 中折板 | |
| ８ | 差込片 | |
| ９ | 折曲片 | |
| １０，１１ | 底板 | |
| １２ | 折曲片 | 20 |
| １３ | 蓋 | |
| １４ | 外蓋板 | |
| １５ | 外表板 | |
| １６ | 摘み片 | |
| １７ | 切目線 | |
| １８ | スリット | |
| P | 商品 | |

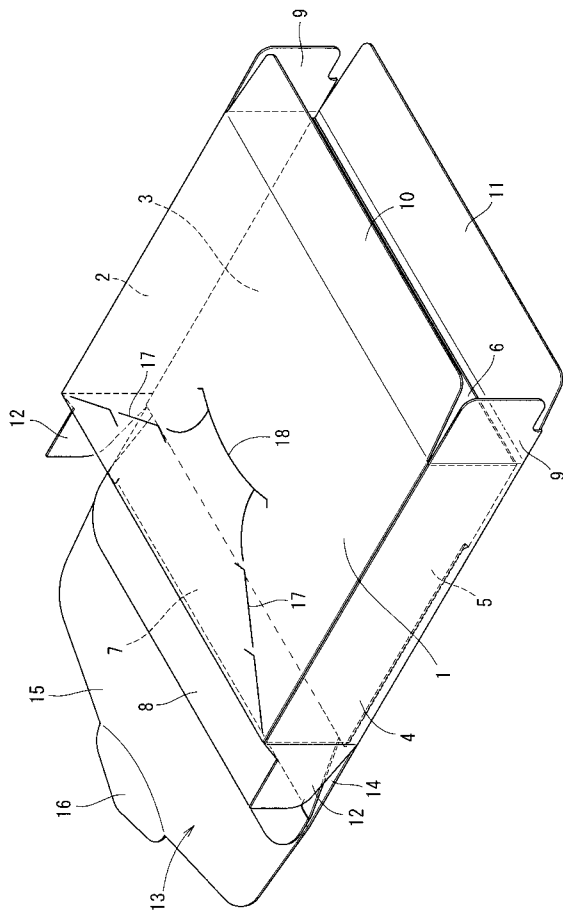
【図 1】



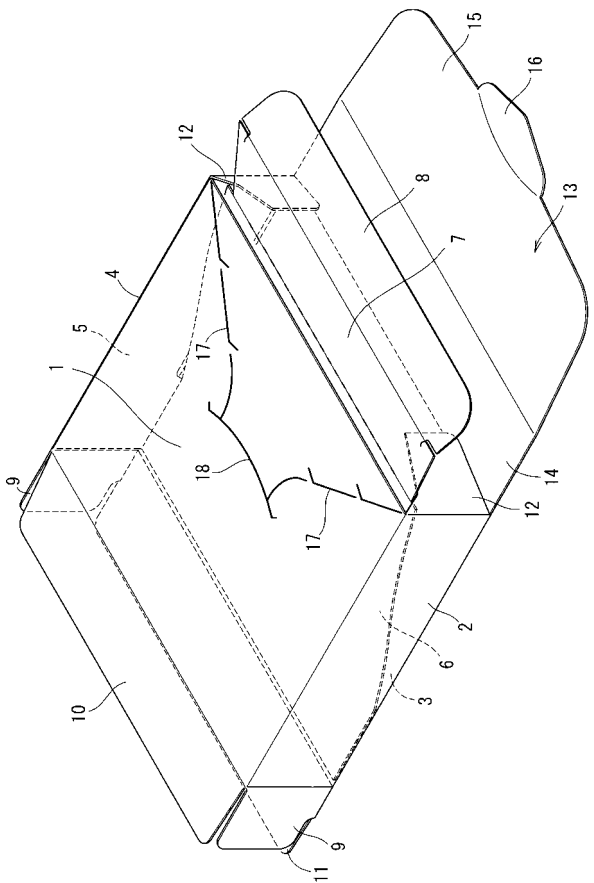
【図 2】



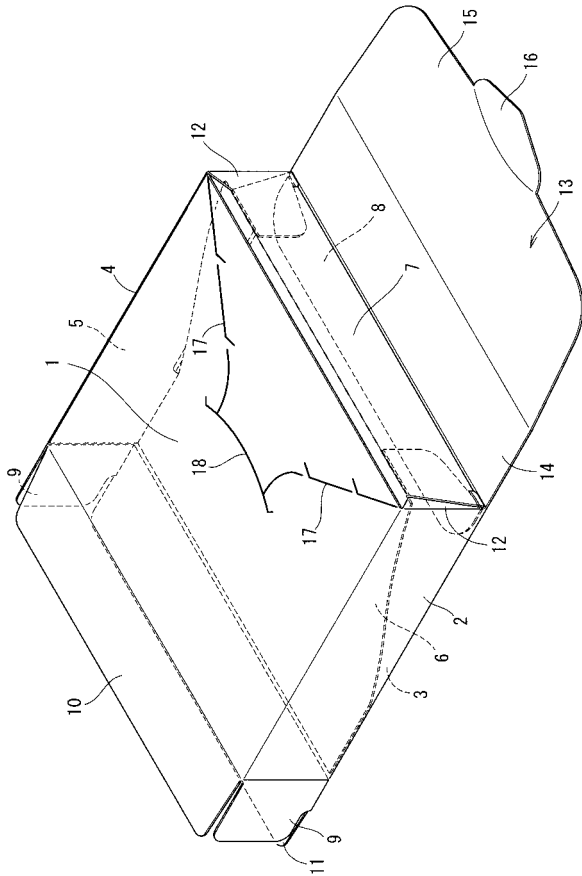
【図 3】



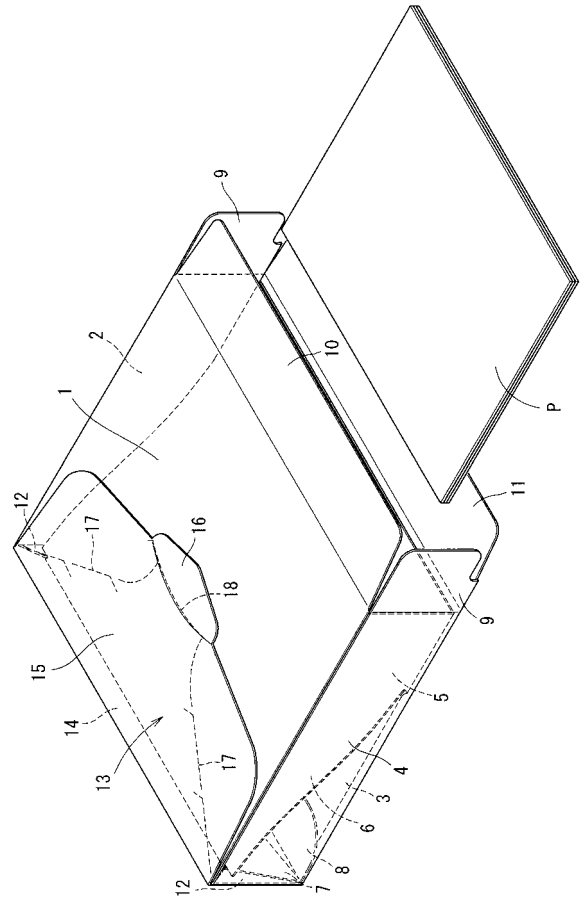
【図 4】



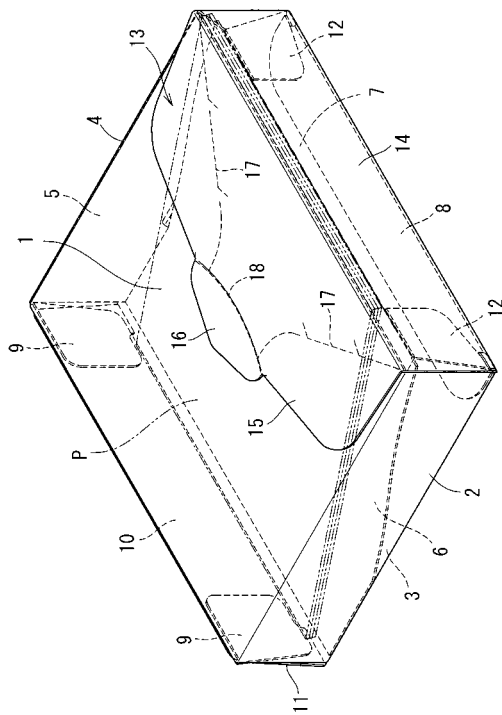
【図 5】



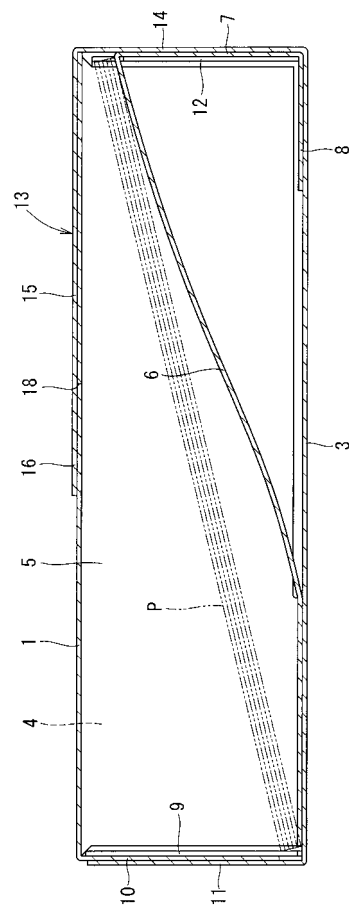
【図 6】



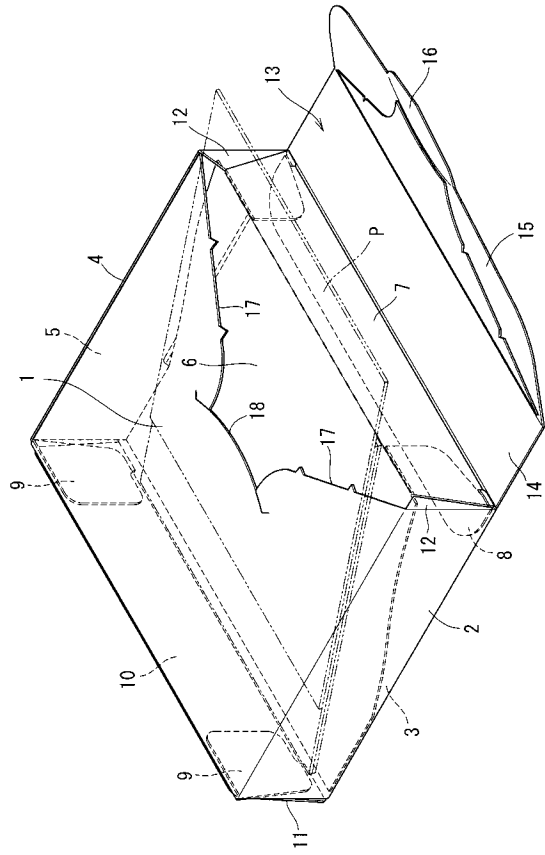
【図 7】



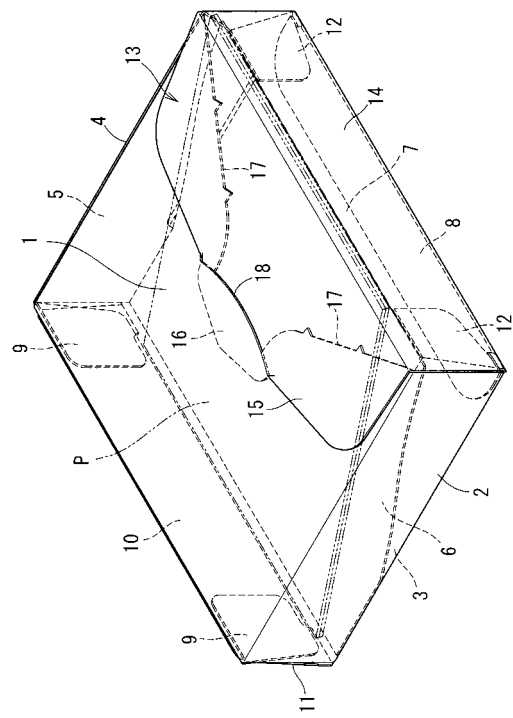
【図 8】



【図 9】



【図 10】



フロントページの続き

(56)参考文献 実開昭62-194527(JP, U)
米国特許第02690254(US, A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
B65D 5/00 - 5/76